

CSR Management

CSR Policy

IDECグループは創業以来「社員すべてが人間性を尊重しつつ企業の発展を通じて社会経済に貢献し、人生に意義あらしめるにある」という企業目標のもと、CSR活動に取り組んでいます。

とりわけ、事業を通じた「安全の普及」と「地球環境への貢献」をその活動の中心に据え、グループ行動基準、国連グローバル・コンパクトの10原則に基づき、事業活動を通じた持続可能な成長の実現に取り組んでいます。2017年4月にはCSR室を新設し、「IDECグループCSR憲章」を制定するなど、さらなる活動強化に取り組んでいます。



IDECグループCSR憲章

社員の皆さまへ	IDECグループは、社員に対して、安全・快適で働きやすい職場環境を提供し、社員の皆さまが誇りを持って働き甲斐を感じる企業を目指します。
お客さまへ	IDECグループはお客さまに対して、「安心」、「安全」を提供する高品質、高性能な製品の開発・生産・販売を約束します。そして、誠実できめ細やかなサービスの提供、適切な情報開示を心掛け、信頼を勝ち得る企業グループを目指します。
株主・投資家の皆さまへ	IDECグループは、株主・投資家の皆さまに対して、積極的に幅広いIR活動を通じ、グローバル企業としての説明責任を果たします。そして価値ある企業として成果を創出し、適正な利潤を確保することにより、皆さまの期待に応えることを目指します。
お取引先さまへ	IDECグループは、お取引先さまに対して、公正で合理的な取引基準を設け、強いパートナーシップを築くことで、互いに繁栄し成長し続ける信頼関係づくりに努めることを目指します。
国際社会・地域の皆さまへ	IDECグループは国際社会・地域の皆さまに対して、企業活動を通じた交流・親交を深め、それぞれの文化、歴史を尊重し、社会貢献・支援活動を行います。また、地球環境の保全活動も積極的に行いグリーンエコノミーの実現に向けて貢献することを目指します。

国連グローバル・コンパクトの10原則



人権 | 企業は、

- 1: 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
- 2: 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。

労働 | 企業は、

- 3: 結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持し、
- 4: あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
- 5: 児童労働の実効的な廃止を支持し、
- 6: 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。

環境 | 企業は、

- 7: 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
- 8: 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
- 9: 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。

腐敗防止 | 企業は、

- 10: 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

※国連グローバル・コンパクトとは、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取り組みです。

Safety

Safety and compatibility with productivity

「安全性」と「生産性」を両立させるために



Policy

安全基本方針

IDECグループは、「人間性尊重経営」を前提として、「企業活動を通じて社会・経済に貢献する」という経営の基本方針に基づき、IDECグループだけでなくグローバル社会での安全で快適な環境づくりのため、すべての事業活動において常により高い安全性の実現を目指します。

Safety DNA

IDECグループは、「産業事故撲滅に貢献する」を重要な社会的責任と位置づけており、幅広い産業分野に対してさまざまな安全・防爆製品をお届けしています。創業間もない1950年に開発された「SB形金属箱開閉器」に、作業者の安全を守るインターロック機構を採用していたほど歴史が古く、以来この安全思想はIDECグループのDNAとして受け継がれています。



1950年に開発した安全機器の草分け「SB形金属箱開閉器」

2016年発売の人・ロボット協調安全を実現する「SE2L形セーフティレーザスキャナ」



※セーフティアセツサ資格とは、日本認証(株)、(一社)日本電気制御機器工業会、安全技術応用研究会、テュフ ラインランド ジャパン(株)の連携によって制度化された、機械安全の知識と能力を認定する資格制度です。

Promotion of qualification

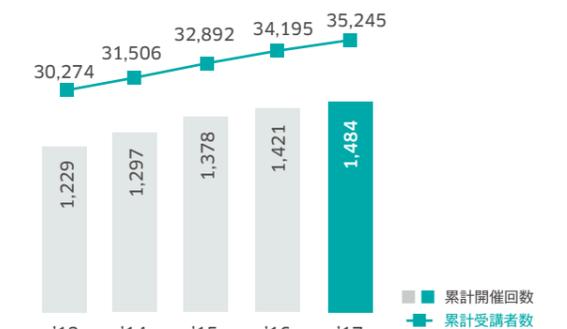
セーフティアセツサ資格者の育成

社員のセーフティアセツサ資格*の取得を推進し、安全製品の開発・普及やコンサルティングにおいて、安全性の妥当性を適切に判断できる人材を育成しています。日本だけでなく中国やタイなどの海外拠点においても資格の取得を進めており、2017年3月31日現在のグループ全体での有資格者は388名となりました。

Holding safety seminars

「安全」啓発活動

産業事故削減への貢献を目指し、「ものづくり安全セミナー」、「防爆安全セミナー」を開催しています。2017年3月期は全国で63回のセミナーを開催し、1,050名の方に参加いただき、累計受講者数は35,245名となりました。



Environment

Through business,
contribute to environmental
impact reduction

事業を通じて、環境負荷低減に貢献する



Policy

環境基本方針

私たちは、地球環境と企業運営の関係において、地球との共生が人類共通の願いであることを認識し、事業活動のすべての面で、環境の保全を最重要課題として行動し、持続可能な発展を目指します。

Global environmental protection

地球環境保護につながる事業

持続可能な社会を目指し、IDECグループとして産業用太陽光発電施設の供給・運営を行い、再生可能エネルギーの普及促進を行っています。

また、長寿命かつ発光効率の高い産業用LED照明の開発・販売を通じて、省エネルギーに貢献しています。



佐用・IDEC中山太陽光発電所



工作機械向けLED照明ユニット「LF1D/LF2D-EN形」

Save All

IDECグループでは、製品開発における基本思想として、「省」に基づく最適制御の実現を1978年以来掲げています。省エネルギー・省スペース・省メンテナンス・省資源など、あらゆる「省」の思想は現在も変わらず、独自の設計審査基準に基づいた新しい環境配慮型製品の開発に、継続的に取り組んでいます。



省スペース・省工数を実現するスイッチング電源「PS5R-V形」

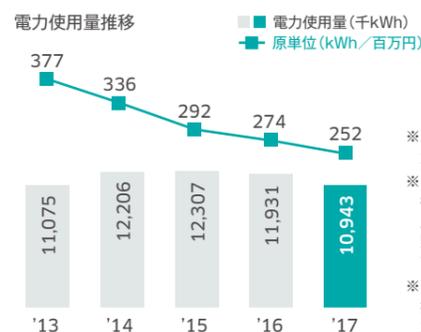
環境配慮型製品の設計審査基準

配慮要素	製品構造
再利用 再資源化	再資源化容易性
	解体容易性
	廃棄処理容易性
省資源 省エネルギー	減容化・軽量化
	消費電力削減
	長期使用対応
環境安全性	規制化学物質不使用

Environment Management System

ISO14001

ISO14001環境マネジメントシステムに基づき年間の目標を定め、電力使用量、水使用量、紙使用量、廃棄物量、CO₂排出量の削減に全社をあげて取り組んでいます。



※原単位は各年度の売上高当たりの使用量です。
※データ集計範囲は、本社/技術研究センター、筑波事業所、尼崎事業所、福岡事業所、滝野事業所、竜野物流センターです。
※その他の環境パフォーマンス推移はwebサイトをご覧ください。

Quality

Quality is the basis
of all corporate activities

「品質」はすべての企業活動の基本である



Policy

品質基本方針

当社が目標とする品質を「使いやすさ」におき、ユーザーに安心して購入し満足して使用していただける優れた製品と、これを最も経済的に作り出す技術を確保するため、全員で考え全員で挑戦する品質保証体制を築き、「品質のIDEC」を実現する。

Quality assurance system

品質保証体制

品質保証部門を中心とした保証体制を構築しています。

IDEC品質保証センター

生産品質保証グループ

生産部の改革を支援

QA推進グループ

全社的な品質保証体制の維持・改善と品質教育

規格管理グループ

製品の認証、維持管理とサポート

信頼性評価グループ

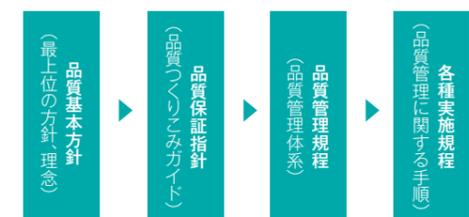
妥当性評価、信頼性評価による製品の性能確認

Quality assurance guidelines

品質保証指針

IDECの「品質基本方針」は「製品の価値を品質におく」ことを基本姿勢とし、これを堅持・完遂するという精神を謳っています。この品質基本方針に基づき、お客さまが必要とする期間、信頼し、かつ十分に満足して使用し続けられる品質の製品を提供するため、各段階において組織的に実行すべき品質保証活動の指針を定めています。

品質方針体系



Quality education

品質教育

生産・開発を含めた全社の品質レベル向上のため、階層ごとにカリキュラムを設定した、体系的な品質管理研修を継続的に行っています。学習成果の確認として、(一社)日本品質管理学会が認定する品質管理検定の受検を推奨するとともに、習得した品質管理の考え方や統計手法を実際の改善業務やQCサークル活動で実践し、その活動の成果を事業所ごとの発表会や全社IDEC大会で発表するなど、品質の向上や工程改善に取り組んでいます。



2017年3月期
研修受講者数

387名

(IDEC、IDECロジスティクスサービスの受講者)

Employees

Making IDEC a rewarding place to work and fulfill one's life

一人ひとりの人生にとって、
IDECが実り多い職場であるために



Policy

人財基本方針

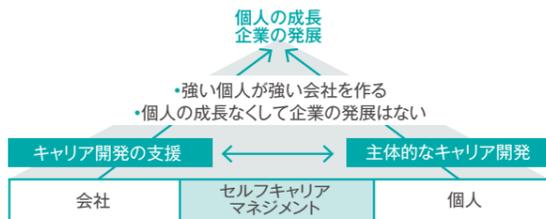
人事施策を展開するにあたっては、その根底に「人間性尊重」の精神をもって行い、人財が育つ風土を確立する。経営基本方針の意図・内容を十分に理解し、それを実践・体現することによって、個々の使命・責任を果たすことのできる人財を育成する。

Human resource development

人財育成

IDECグループでは、求める人財像として「チャレンジ精神」、「チームワーク」、「自己研鑽」の3つを掲げ、オーナーシップの感性を備え、自らの意志で現在と未来を切り拓ける人の育成・登用を行っています。

人財育成面においては、体系的な社内外研修制度やキャリアアップ支援制度のほか、グローバルで通用する人財育成を目指し、若手社員を対象とした海外トレーニー制度の導入、TOEIC®を国内グループ全社員が受験し、レベルに合わせた英語教育プログラムを導入しています。



Life-work balance

ライフワークバランス

育児休業復帰率
100%

育児や介護をしながら働いている社員を皆で支え合う制度を充実させ、すべての社員が安心して働ける基盤を整えており、2017年3月期の女性従業員の育児休業取得率、育児休業復帰率はともに100%となりました。

また、「働き方改革」を推進するため、4分の1有給休暇制度、在宅勤務制度、カムバック制度などの導入を予定しており、多様な働き方ができる制度を整備しています。

出産・育児に関する諸制度

妊娠	出産	1歳
つわり、通院に関する措置	産前・産後休暇	育児休業
通勤緩和・休憩等の措置		育児時間(3歳まで)
		育児短時間勤務(小学3年まで)
		育児時差勤務
		子ども・家族の看護休暇
		所定外労働の免除 時間外労働の制限

小学校卒業

Diversity

ダイバーシティ

国籍やセクシャリティ、障がいの有無を問わず優秀な人財の採用を進めるとともに、外国人技能実習生を受け入れるなど、IDECグループとしてダイバーシティを推進しています。グループ会社のIDECロジスティクスサービスでは、障がい者の雇用と定着に積極的に取り組んでおり、2017年3月31日現在で18名の障がい者が就業しています(障がい者雇用率10.5%)。また現地採用社員の能力向上にも努めており、台湾愛徳克股份有限公司では、現地採用の人財が代表者である総経理に就任しました。



台湾愛徳克股份有限公司では現地採用人財が総経理に就任(前列左から3人目)

Governance

More transparency,
more efficiency
to remain a trusted company

より透明に、より効率良く
信頼される企業であり続けるために



Policy

コーポレートガバナンス・ポリシー

IDECグループでは、株主さまをはじめとするステークホルダーに対して、経営の透明性ならびに効率性を確保することをコーポレートガバナンスの基本と考え、企業価値の向上を実現するために、コーポレートガバナンスのさらなる強化を推進します。

Governance system

ガバナンス体制



執行役員制度を導入し、経営の業務執行機能と監督機能の分離を図り、効率的な経営を目指しています。また、取締役会については取締役7名のうち過半数である4名が社外取締役であり、監査役会についても3名が社外監査役であるなど、社外役員を積極的に選任、任用し、業務執行に対する実効性の高い監督・監査体制としています。さらには、事業運営に資する幅広いご意見・ご助言を得るため、国内外の有識者からなるグローバルアドバイザーボードを設置しています。

グローバルアドバイザーボードメンバーの Romano Volta氏、Peter Tarantino氏



Compliance / Risk management

コンプライアンス/リスク・マネジメント

職務を行ううえでの基本的な考え方や行動の指針を「行動基準」にまとめ、国内外の従業員に配布しており、入社年数や職責・階層に応じた定期的な研修を実施しています。さらには、危機の回避と万が一の危機発生時の被害最小化を目的とした「危機管理規程」の制定・運用を行うとともに、代表取締役社長を委員長とした「リスクマネジメント委員会」を設置し、当社およびグループ会社の平常時の危機管理および危機発生時の対応を行っています。



Audit system

監査体制

経営目標達成への貢献を目的に、合法性と効率性の観点から、公正かつ独立的な立場で経営諸活動の状況を評価・支援しています。重点取り組み事項として、リスクのマネジメント、コントロールおよび組織体のガバナンスプロセスの有効性の評価改善提案とその支援を行っています。また、IDECグループの財務報告の信頼性確保にかかる内部統制の整備運用状況について、独立した視点で評価を実施しています。

